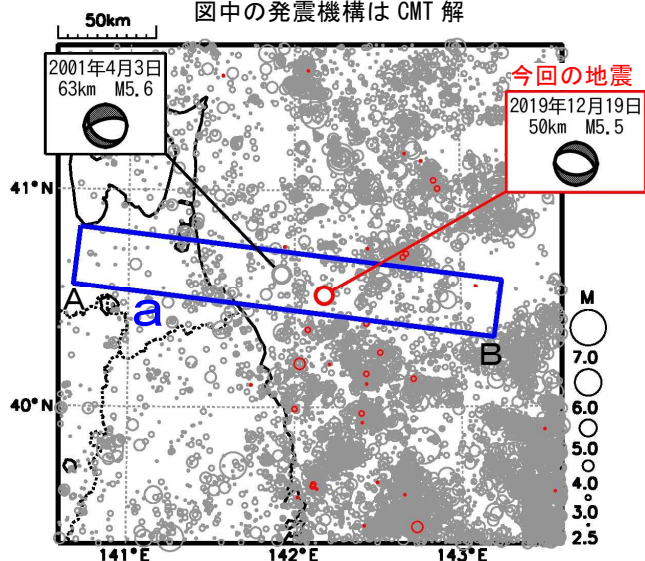


# 12月19日 青森県東方沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2019年12月31日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 2.5$ )  
 2019年12月の地震を○で表示  
 図中の発震機構はCMT解

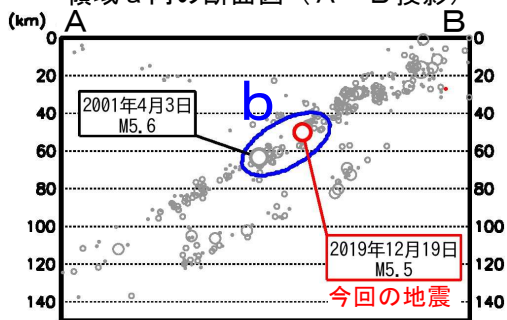


2019年12月19日15時21分に青森県東方沖の深さ50kmでM5.5の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北北東-南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

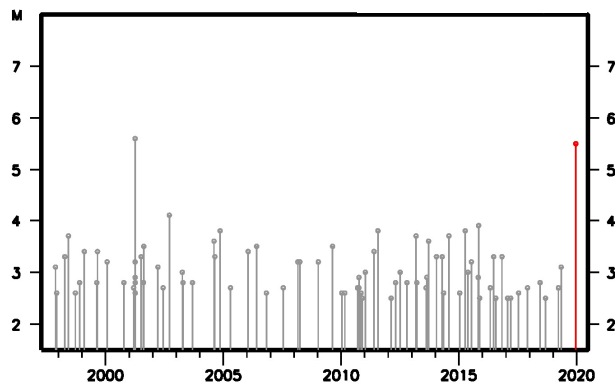
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM4.0以上の地震はあまり発生していないが、2001年4月3日04時54分にはM5.6の地震 (最大震度4) が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) は、M7.0以上の地震が時々発生している領域で、1968年5月16日09時48分には「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5) が発生した。この地震により、青森県八戸[火力発電所]で295cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

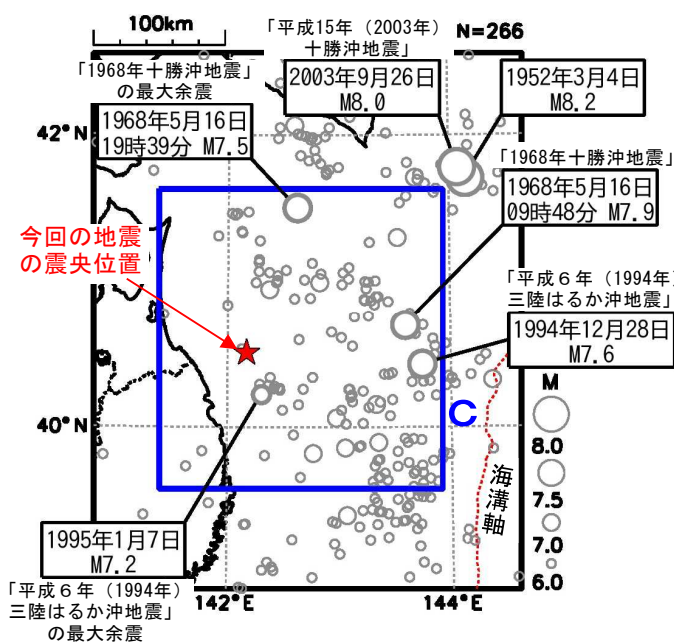
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



震央分布図  
 (1922年1月1日～2019年12月31日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )



領域c内のM-T図

